

第6次鳥取市行財政改革大綱実施計画 評価シート

ID 4

柱	『1.協働のもと信頼される都市経営の推進』	番号	1	推進担当課
施策名	1.圏域をけん引する 都市経営の推進			観光・ジオパーク推進課
細施策名	2.シティセールスの強化			
取組内容	鳥取砂丘・いなば温泉郷を核とした観光ブランドの確立	目標・達成 予定年度	・鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺入込客数実人数 3,140千人[31年度](年間50千人の増) ・トワイライトエクスプレスを契機とした着地型観光の確立[28年度] ・広域観光DMOの発足[30年度]	
行財政効果	観光産業の振興で地域経済を活性化し、税収増加を図ります。			

年度別計画 (3か年)	29年度 広域連携DMOの設立準備、誘客ターゲットとKPIの設定 30年度 広域連携DMOによるブランドコンセプトの設定、周遊ルートの開発 31年度 鳥取西道路開通を契機とした湖山池周辺等の観光資源の磨き上げ	年度別実績	29年度 地域連携DMO設立準備を進め、(一社)麒麟のまち観光局を設立 30年度 地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の事業開始。麒麟のまち圏域のブランドロゴ等の制作。欧米豪をターゲットとした観光商品の造成。
----------------	--	-------	--

四半期ごとの計画と進捗状況		H27	H28	H29	H30	H31
第1(4~6月)	四半期ごとの計画	麒麟のまち観光局による、[1]ブランドコンセプトの設定、[2]周遊ルートの開発 <検討>				
	進捗状況/理由/改善方法等	麒麟のまち圏域(鳥取因幡・兵庫但馬1市6町)のブランドロゴ・キャッチコピーの検討。羽田-鳥取訪日外国人誘客事業における観光商品の検討。				
	第2(7~9月)	麒麟のまち観光局による、[1]ブランドコンセプトの設定、[2]周遊ルートの開発 <案の策定>				
	進捗状況/理由/改善方法等	麒麟のまち圏域のブランドロゴ・キャッチコピーの検討。羽田-鳥取訪日外国人誘客事業における観光商品の検討。				
第3(10~12月)	麒麟のまち観光局による、[1]ブランドコンセプトの設定 <決定> [2]周遊ルートの開発 <事業計画>					
進捗状況/理由/改善方法等	麒麟のまち圏域のブランドロゴ・キャッチコピー(案)の制作。羽田-鳥取訪日外国人誘客事業における観光商品の造成。					
第4(1~3月)	麒麟のまち観光局による、[1]ブランドコンセプトの設定 <共有・浸透> [2]周遊ルートの開発 <実施(随時)>					
進捗状況/理由/改善方法等	麒麟のまち圏域のブランドロゴ・キャッチコピーの制作・公表。羽田-鳥取訪日外国人誘客事業における観光商品の販売。					

成果指標 (目標/実績)	指標	年度別目標/実績					説明
	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺入込客数実人数(H26実績:2,890千人)	H27	H28	H29	H30	H31	
		2,940	2,990	3,040	3,090	3,140	
達成率	102.4%	96.2%	86.6%	86.9%		実績数値は鳥取県観光客入込動態調査結果を設定しており、8月頃に確定します。	
コスト等	事業費(千円)	7,520	8,760	13,381	42,500	20,000	鳥取・因幡観光ネットワーク協議会負担金やDMO支援等の経費
	従事者数(人役)	0.30	0.30	0.80	0.50	1.50	

実施計画の評価	評価	H27	H28	H29	H30	H31	判定レベル	
	担当課自己評価	鳥取因幡・兵庫北但西部地域1市6町の広域観光圏の形成に向け、30年4月に地域連携DMO「麒麟のまち観光局」が事業開始した。観光局では、訪日外国人と若年層を重点ターゲットとし、ロゴマークなどエリアブランディングによる情報発信や、圏域の地域資源をネットワーク化した観光商品の造成等に取り組んでいる。						進捗度 B
	次年度の取組方針	31年度は、鳥取西道路の開通を見据え、鳥取西エリアの観光資源の磨き上げに取り組む。						達成度 B
行財政改革推進市民委員会の評価							<<進捗度判定>> A:極めて順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている E:未着手 <<達成度判定>> A:目標を上回る(100%以上) B:概ね目標どおり(80%以上~100%未満) C:目標を下回る(50%以上~80%未満) D:目標を大幅に下回る E:0%以上~50%未満 E:検討の結果中止	

備考	DMO: Destination Management Organization とは、観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人。鳥取・島根両県を対象エリアとする「山陰インパウンド機構(山陰DMO)」と鳥取県東部および兵庫県北西部の1市6町を対象とする「麒麟のまち観光局(広域観光DMO)」がある。
----	---

最終評価 (事業終了または30年度末に実施)	担当課コメント
---------------------------	---------

第6次鳥取市行財政改革大綱実施計画 評価シート

ID 6

柱	『1.協働のもと信頼される都市経営の推進』	番号	2	推進担当課
施策名	2.コンパクトなまちづくりの推進	交通政策課		
細施策名	1.居住・都市機能の誘導			
取組内容	利便性が高く効率的な生活交通網の構築	目標・達成 予定年度	バス利用者数(路線バスについては 東部圏域内)の維持(3,251千人)[31 年度]	
行財政効果	利便性が高く効率的な公共交通網の形成を図ります。			

年度別 計画 (3か年)	29年度 各種交通施策の実施 乗合タクシー(雨滝上地線)の本格運行開始 くる梨の現況調査、バスロケーションシステムの運用 30年度 各種交通施策の継続実施、くる梨のルート再編検討 31年度 各種交通施策の継続実施、くる梨のルート再編	年度別 実績	29年度 ・各種交通施策の実施(乗合タクシー、くる梨、市町村 有償 運送、公共交通空白地有償運送、路線バス維持補助) ・乗合タクシー(雨滝上地線)の本格運行開始 ・くる梨の現況調査 ・バスロケーションシステムの運用 30年度 ・くる梨の路線再編案検討 ・生活交通創生ビジョン策定にかかる検討
--------------------	--	-----------	---

四半期ごとの計画と進捗状況		H27	H28	H29	H30	H31	
第1(4~6月)	四半期ごとの計画			進捗状況/理由/改善方法等			
	乗合タクシー、くる梨、市町村有償運送、公共交通空白地有償運送の運行 ・生活交通会議の開催(共通)			乗合タクシー・くる梨・気高循環バス・網見バス・福部循環バス・ふるさとバスの運行			
	第2(7~9月)	乗合タクシー、くる梨、市町村有償運送、公共交通空白地有償運送の運行 ・くる梨の路線見直し実施 ・利用者や地域住民等への聞き取り調査の実施(乗合タクシー共通) ・生活交通会議の開催(共通)			乗合タクシー・くる梨・気高循環バス・網見バス・福部循環バス・ふるさとバスの運行 ・気高循環バスについて、利用実態に合わせてダイヤおよび停留所の見直しを図った。		
		乗合タクシー、くる梨、市町村有償運送、公共交通空白地有償運送の運行 ・路線バス維持補助金の申請受理及び支払い			乗合タクシー・くる梨・気高循環バス・網見バス・福部循環バス・ふるさとバスの運行		
	第4(1~3月)	乗合タクシー、くる梨、市町村有償運送、公共交通空白地有償運送の運行 ・生活交通会議の開催(共通)			乗合タクシー・くる梨・気高循環バス・網見バス・福部循環バス・ふるさとバスの運行 ・気高循環バスの運行体制について地域振興会議委員と運行路線・ダイヤについて 意見交換した。・大和地区まちづくり協議会を中心とした生活交通の維持について 協議検討を行った。		

成果指標 (目標/実績)	指標	年度別目標/実績					説明
	バス利用者実績 (単位:千人)	H27	H28	H29	H30	H31	
		達成率	100.0%	99.3%	99.0%	97.8%	
コスト等	事業費(千円)	279,079	295,408	300,374	317,947		バスの運行に関する 補助金・委託料・ 負担金など
	従事者数(人役)	2.15	2.15	1.70	2.15		

実施計画 の評価	評価	H27	H28	H29	H30	H31	判定レベル		
	担当課自己評価	交通事業者による路線廃止を受け、地域が主体となり自ら生活交通を支える機運が醸成 することができた。これを好機として、市内全域に広めていきたい。						進捗度 B	≪進捗度判定≫ A:極めて順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている E:未着手
	次年度の取組方針	次年度も引き続き利用者ニーズの把握につとめ、各種交通施策の利用促進をはかる。 また、新本庁舎建設に伴うくる梨の路線見直しについて検討を続ける。						達成度 B	
	行財政改革推進 市民委員会の評価								≪達成度判定≫ A:目標を上回る (100%以上) B:概ね目標どおり (80%以上~100%未満) C:目標を下回る (50%以上~80%未満) D:目標を大幅に 下回る (0%以上~50%未満) E:検討の結果中止

備考	乗合タクシー:バス路線が廃止された地域等で事業者が地域住民の移動に資するため運行する、小型車両(ハイエースやセダンなど)。 くる梨:鳥取市の中心市街地等をまわる100円循環バス。 市町村有償運送:交通の空白地において、市町村が自家用自動車を使用して有償で輸送するもの。 公共交通空白地有償運送:過疎地域等において、NPO等が自家用自動車を使用して有償で運送するもの。
----	--

最終評価 (事業終了または 30年度末に実施)	担当課コメント
-------------------------------	---------

第6次鳥取市行財政改革大綱実施計画 評価シート

ID 21

柱	『2.将来にわたる税財源の拡充』	番号	2	推進担当課
施策名	2.結婚・妊娠・出産・子育て対策の重点化			政策企画課
細施策名	1.婚活支援の強化			
取組内容	①すごい！鳥取市婚活サポートセンターの運営 ②参加しやすい婚活イベントの実施	目標・達成 予定年度	成婚組数60組[31年度]	
行財政効果	鳥取市婚活サポートセンターを活用し、趣向を凝らした結婚活動支援を行い、本市での結婚・定住で人口増加を図ります。			

年度別 計画 (3か年)	29年度 県事業・民間イベントとの連携を検討 30年度 婚活イベントの実施 アフターフォローの充実 取組内容の抜本的な見直し検討 31年度 継続実施	年度別 実績	29年度 婚活イベントの実施 県事業、民間事業者との連携を検討 30年度 婚活イベントの実施 アフターフォローの充実 県・民間事業者との連携 麒麟のまち圏域へのエリア拡大
--------------------	--	-----------	--

四半期ごとの計画と進捗状況	H27	H28	H29	H30	H31
第1(4~6月)	四半期ごとの計画 参加しやすい婚活イベントの実施(月4~5回)により、結婚活動の支援を行う。また、企業・団体等の支援の周知及び情報共有を図る。併せて事業内容等の見直しに向けて、昨年度イベント開催時に実施したアンケートの分析を行う。		進捗状況/理由/改善方法等 ○各月において婚活イベントを実施した。(4月...4回、5月...4回、6月...4回)(大規模3回、小規模9回、相談会3回) 登録会員向けのアンケート調査を実施し、分析を行った。		
第2(7~9月)	参加しやすい婚活イベントの実施(月4~5回)により、結婚活動の支援を行う。また、企業・団体等の支援の周知及び情報共有を図る。併せて分析結果に基づき事業の実施内容等の見直しの検討を行う。		○各月において婚活イベントを実施した。(7月...4回、8月...4回、9月...4回)(大規模3回、小規模9回、相談会3回) 県、他団体との連携に向け、協議を開始した。		
第3(10~12月)	参加しやすい婚活イベントの実施(月4~5回)により、結婚活動の支援を行う。また、企業・団体等の支援の周知及び情報共有を図る		○各月において婚活イベントを実施した。(10月...4回、11月...4回、12月...4回)(大規模2回、小規模10回、相談会2回) ○県が実施するえんトリーとの共同企画・運営した大規模イベントを実施		
第4(1~3月)	参加しやすい婚活イベントの実施(月4~5回)により、結婚活動の支援を行う。また、企業・団体等の支援の周知及び情報共有を図る		○各月において婚活イベントを実施した。(1月...4回、2月...4回、3月...4回)(大規模3回、小規模9回、相談会5回) ○3月より、会員対象等を麒麟のまち圏域(鳥取市・岩美町・智頭町・八頭町・兵庫 県香美町・兵庫県新温泉町)に拡大した。		

成果指標 (目標/実績)	指標	年度別目標/実績					説明
	成婚組数	H27	H28	H29	H30	H31	
	達成率	400.0%	53.3%	36.7%	33.3%		
コスト等	事業費(千円)	8,237	11,746	13,651	10,200		婚活サポートセンター運営の外部委託経費
	従事者数(人役)	0.10	0.10	0.10	0.10		

実施計画 の評価	評価	H27	H28	H29	H30	H31	判定レベル	
	担当課自己評価	県及び関係団体等(県えんトリー、Uスタジオウシオ、BASE8823)との連携イベントを3回実施した。また、会員のアフターフォローの充実強化、会員対象等の麒麟のまち圏域への拡大等、効果的な事業実施に努めた。この結果、計103組のカップルが成立したが、成婚組数は目標には及ばなかった。				進捗度 C		<<進捗度判定>> A:極めて順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている E:未着手
	次年度の取組方針	麒麟のまち圏域へのエリア拡大について、さらに周知を図るとともに、エリア拡大したメリットを活かし、圏域全体の気運を醸成させ、会員数の拡大及び出会いの機会の増大を図る。引き続き、きめ細かいアフターフォローにより、成婚数の増加を図るほか、県及び関係団体等の連携も進めていく。				達成度 D		
行財政改革推進 市民委員会の評価								

備考	平成27年度3月31日実績:登録者数/1,081人、イベント参加者数/677人、カップル成立数/72組 平成28年度3月31日実績:登録者数/1,433人、イベント参加者数/781人、カップル成立数/59組 平成29年度3月31日実績:登録者数/1,671人、イベント参加者数/720人、カップル成立数/62組 平成30年度3月31日実績:登録者数/2,042人、イベント参加者数/824人、カップル成立数/103組
----	---

最終評価 (事業終了または30年度末に実施)	担当課コメント
---------------------------	---------

第6次鳥取市行財政改革大綱実施計画 評価シート

ID 24

柱	『2.将来にわたる税財源の拡充』	番号	2	推進担当課
施策名	2.結婚・妊娠・出産・子育て対策の重点化		学校教育課	
細施策名	3.子育て支援の強化			
取組内容	放課後児童クラブの運営のあり方の見直し	目標・達成 予定年度	放課後児童クラブの利用者増[31年度] ※利用者H27:2000人→H31:2,884人	
行財政効果	子育て支援の充実で、働く世代の負担を軽減し、少子化解消を図ります。			

年度別計画 (3か年)	29年度 開設場所の確保・受入の実施 30年度 開設場所の確保・受入の実施 支援員への研修実施 31年度 継続実施	年度別実績	29年度 開設場所の確保・受入の実施 30年度 開設場所の確保・受入の確保、既存施設の環境整備 新任支援員への研修会の実施
----------------	--	-------	---

四半期ごとの計画と進捗状況		H27	H28	H29	H30	H31	
第1(4~6月)	四半期ごとの計画	進捗状況/理由/改善方法等					
	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模クラブや定員を超えるクラブについて、分割及び施設の拡充等の協議を行い、開設場所の確保に取り組む(通年)。 ・新規開設予定のクラブと開設に向けた協議、開設場所の確保に取り組む。 ・民間事業者の現状把握、連携協議(長期休暇時の受入等) 	美保小児童クラブ3クラブ新設、浜坂小、稲葉山小、城北小の児童クラブの分割を行い、世紀小のみ児童クラブ、久松小まつかぜ児童クラブの拡充を行った。分割、拡充等のうち計4クラブのエアコン整備発注、施設整備一部完了。					
	第2(7~9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・分割対象となるクラブとの協議、開設場所・運営者の検討 ・新設開設予定クラブとの協議、検討 ・民間事業者との連携(例:利用者への紹介、支援策等)の検討 ・支援員等への研修実施 	分割、拡充等のうち計4クラブのエアコン整備完了。施設整備完了。平成31年度分割予定の久松小、若葉台小、醇風小と協議を実施。平成31年度更なる分割クラブの選定。民間事業者への情報提供とクラブ開設に向けての協議。				
	第3(10~12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・開設場所の確保、補正・当初予算要求 ・民間事業者との連携の具体化、当初予算要求検討 ・支援員等への研修実施 	新設(湖山)、分割(久松、若葉台、醇風、浜坂)に向け、予算要求を行い、関係各課との調整も行った。新任支援員研修会を実施。				
第4(1~3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備・改修、新設・分割等の支援 ・民間事業者の活用、連携の推進・強化 	新設(湖山)、分割(久松、若葉台、醇風、浜坂)を確定した。NPO法人への運営転換の調整を行った。(久松、醇風、浜坂)引き続き、情報収集を行い、入級ニーズに応えられる環境づくりを行っていく。					

成果指標 (目標/実績)	指標	年度別目標/実績					説明
	放課後児童クラブの利用者数(H26:47クラブ、1,947人)	H27	H28	H29	H30	H31	
		2,000	2,300	2,500	2,646	2,884	
達成率	104.0%	99.5%	97.1%	101.4%			
コスト等	事業費(千円)	360,510	401,043	491,672	434,880		放課後児童クラブ運営委託経費や施設整備に係る経費
	従事者数(人役)	2.00	2.00	2.00	2.00		

実施計画の評価	評価	H27	H28	H29	H30	H31	判定レベル	
	担当課自己評価	施設整備、クラブの新設、分割等を計画通り実施。民間事業者との連携については今後も継続して実施していく。						進捗度 B
	次年度の取組方針	平成30年度末利用者は2,682人(62クラブ)となり目標を達成。入級者の要望は増加していることから、引き続き次年度に向けてクラブの分割等に取り組み、子育て支援の充実を図る。また、運営について、民間事業者、NPO法人、社会福祉法人等への転換を検討する。						達成度 A
行財政改革推進市民委員会の評価							≪進捗度判定≫ A:極めて順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている E:未着手 ≪達成度判定≫ A:目標を上回る(100%以上) B:概ね目標どおり(80%以上~100%未満) C:目標を下回る(50%以上~80%未満) D:目標を大幅に下回る E:0%以上~50%未満 E:検討の結果中止	

備考	
----	--

最終評価 (事業終了または30年度末に実施)	担当課コメント
---------------------------	---------